

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	リエブラッツ枚方		
○保護者評価実施期間	2025年 4月 9日 ～ 2025年 4月 26日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	43 (回答者数)	18
○従業者評価実施期間	2025年 4月 16日 ～ 2025年 4月 30日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12 (回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 5月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どものことを十分に理解し、特性等に応じた専門性のある支援が受けられる。	・他職種連携を密に行い多角面からのアプローチによる支援をしています。 ・小集団療育を通し、ルールの理解や他者とのコミュニケーションスキルの習得に繋がられるよう支援しています。 ・特性に合わせた視覚的、聴覚的な支援をしています。	・スタッフ間で情報共有をし他職種連携をさらに強め、1人1人に合った支援方法を提供いたします。 ・小集団療育を通し、異年齢の子どもとの関わりによる、それぞれの役割や相手への関わり方を意識できるように支援します。
2	ご利用者のニーズや課題を客観的に分析し個別支援計画が作成されている。	積極的に保護者と情報共有を密に行うことでご利用者のニーズに気づくことができより充実した支援内容をご提供できております。	ご家庭だけではなく、外部との連携を強め、多方面からの情報を得たうえで、より細かく計画を立て支援します。
3	お子様に安心をもって通所いただけている。	安心して過ごしていただけるような環境設定をしています。 子どもの意思を尊重することで信頼関係が育まれます。	子どもの気持ちに寄り添い受容し、さらに自発的に意思表示や決めたことを行動に移せるよう支援します。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者が必要な支援を受ける機会が限られている場合、適切な情報が提供されず、支援方法の共有が不十分に感じられることがあります。	家族向け支援プログラムの数や種類が少なく、情報提供の手段が療育後のフィードバック、一か月分の紙媒体による記録、モニタリングと限定されており、保護者が必要な情報を得にくいと考えられます。	家族向けの研修会や相談会の開催を検討し、情報共有を強化できるよう、オンラインでも情報を得られる環境を整え、SNSやホームページで最新情報を発信・個別相談の機会を増やし、家庭での支援方法について具体的なアドバイスを提供いたします。